

研修だより

コミュニケーション能力の何が問題か？

コミュニケーション能力について、具体的な問題点は何でしょうか？

広島県立教育センターの調査研究では、日本人のコミュニケーションについて、次の3つの問題点があるとしています。

積極的にコミュニケーションを図る態度に欠けている。

自分の意志を明確に主張しない。

論理的な表現を好まず、あいまいな表現を多用する。

(広島県立教育センター研究紀要第28号P63参照)

わが地域の子供達にも見事に当てはまるのではないのでしょうか。(子供だけの話ではない、という声もありますが...) (^;)

国際社会に生きる21世紀の日本の子供達には、積極的にコミュニケーションを図り、自分の意志を明確に主張し、論理的に表現する力が求められているのです。

では、こういった能力を身に付ける場が、今までの授業にあったでしょうか？

残念ながら「ほとんどなかった」と言っても過言ではありません。さすがに教科会社は対応を始めていますが、まだまだの段階です。

基本的には、国語科の授業の場につけるべき力が、コミュニケーション能力です。

私たち自身が、意識を変え、教材を、授業を創っていくほかはないのです。国語科の授業改善こそが急務です。

欧米諸国では小学校段階から、授業の中で繰り返し発表の場が与えられ、人前で自分の意見を述べることや人の話の聞く事の練習をしているといえます。日本との違いは明らかです。

今年度、本校の国語科研究授業では、必ず「発表」「話し合い」「討論」等の活動を入れることとなります。その際は、「意見の根拠を明確にすること」が求められます。

「論理的に表現することで、相手に自分の考えが伝わり、お互いの考えを理解し合える」と、考えていきましょう。